



薬師寺小だより

第4号
令和3年7月9日
下野市立薬師寺小学校
校長 海老原 忠

教育目標 『ふるさとを愛し、夢に向かって高め合える子を育む』
・すすんで学ぼう ・心をみがこう ・体をきたえよう

もうすぐ夏休み

雨の日が多く、なかなか外で思い切り遊べない日が続きますが、そのような中でも子供たちは毎日元気に過ごしており、欠席者が少ない状況は今も継続しています。ただ、外で遊べないとやはりストレスはたまるようですね。早く青空の下、思い切り遊ばせてあげたいと思います。

今年度も早3か月が過ぎ、学習の様子や行動の様子など、様々なところで子供たちの成長が感じられます。引き続きさらなるステップアップをさせたいところですが、もうすぐ夏休み、ここで指導が途切れてしまうことが残念です。しかし子供たちにとっては2年ぶりの長い夏休みです。そして本校最後の夏休みです。7月30日には薬小祭も予定しています。是非、充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。保護者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。『閉校までのカウントダウンは7月9日現在259日です。』



《2年ぶりのプール》

昨年度はプールでの授業を実施できませんでしたので、今年は2年ぶりのプールです。6月17日に5・6年生がプール掃除をしてくれました。6月25日には代表児童とプール開きを行い、6月28日からプールの利用を開始しました。我々教職員も事前に心肺蘇生法の研修を行い、万が一に備えています。また密状態を避けるため、学級単位の授業とし着替えも更衣室は使用せず体育館を使用するなど、配慮しながら期間を限定して実施しています。



プール掃除（5・6年生）



プール開き



心肺蘇生法研修

《「らこんて」の皆さんによる読み聞かせ》



6月11日、7月8日、「らこんて」の皆さんに全学級において読み聞かせをしていただきました。久しぶりの絵本の読み聞かせに、子供たちは真剣に聞き入っていました。

今年度は、8回の読み聞かせをお願いしています。楽しみですね。

《第1回新聞の日》

昨年度から始まった「下野市新聞の日」の第1回目を6月15日に実施しました。1～3年生には「読売子ども新聞」が、4～6年生には「下野新聞」が配られました。記事をスクラップし要旨をまとめたりカタカナ探しをしたりと、学年に応じて新聞を活用した取組を行いました。



《3校合同芸術鑑賞会》

6月21日（月）に来年統合される3小学校合同で芸術鑑賞会を実施しました。コロナウイルス感染防止を考慮して子供たちを低中高にわけ、落語家による「わんぱく寄席」を3回講演していただきました。落語や目の前での切り絵芸などに触れることは少ないため、子供たちなりに楽しめたようです。



《エゴマの苗植え》



6月24日に3・4年生がエゴマの苗植えを行いました。市文化財課や薬師寺歴史館、ボランティアの方々のご協力により、今年も植え付けを行うことができました。11月の収穫が楽しみです。

《なかよし班共遊》

7月7日、今年度初めてのなかよし班共遊がありました。6年生が中心になり、ドッジボールや中線踏み、へびおになどをして楽しい時間を過ごすことができました。



校長室の窓から

ある雨の日の朝、昇降口でバッグから靴下を取り出し履き替える複数の高学年女子の姿がありました。その後東昇降口に行くと、低学年男子が同じように靴下を取り出し履き替え始めました。その子は靴下の他に替えの靴も持ってきていて、下駄箱の靴も取り替えていました。その日は雨が上がり休み時間は外で遊べましたし下校時も雨は上がっていました。そのテキパキとした動きに驚くと共に、保護者の方の心配りに感動した一コマでした。もしかしたら本人自身の判断だったのかもしれないですね。数十年前中学生だった頃、靴下を持って自転車で登校した頃を思い出しました。